

レポート番号：#640

パーソナライズドビークルの市場動向及びエコシステム



Connected &
Mobility Services

多くの業界やセクターにおいて、パーソナライゼーションは、ユーザーの移動や体験を個別化するプロセスとして知られています。これまで自動車業界では、メンテナンスやインフォテインメントなど、一部のユーザーエクスペリエンス（UX）においてパーソナライゼーションを提供してきました。しかし、他のセクターと比較すると、パーソナライズされたエンド・ツー・エンドの体験を提供することでは大きく遅れをとっています。

現在、このようなサービスは限られています。業界はソフトウェアディファインドビークル、電気自動車、および自動運転車にシフトしており、自動車のさまざまなUXにおいてパーソナライズされた体験を提供する新しい機会が生まれるとみられます。また、こうした体験は、ユーザーに新しい機能やインセンティブを提供するだけでなく、OEMにとっても新しい収入源、ビジネスモデル、機会となります。

本書では、現在の自動車のパーソナライゼーションがどのようなものであるかを示し、それが将来の消費者体験に与える影響を分析します。現在利用可能な自動車のパーソナライゼーション機能のエコシステムを深く掘り下げ、さまざまな成熟度合いを特定し、さまざまな地域のOEMが提供する最新のサービスを紹介します。また、車載パーソナライゼーションを実現するためにテック企業が果たす役割についても解説し、5年後の予測では、パーソナライゼーションがどのように進化していくのかについて重要な洞察を示します。



目次

- はじめに
- 要旨
- 市場けん引要因
- 実現技術
- 規制要因
- エコシステムの変化
- 最先端と今後の展望
- 関係企業への推奨事項
- 詳細情報

関連レポート

**ソフトウェア・ディファインド・ビークル：
ビジネスモデル、コアテクノロジー、サプライチェーン**
レポート番号： 636

本書ではソフトウェア・ディファインド・ビークルについて詳説するとともに、クロスプラットフォームソフトウェアによる継続的な更新および保守が可能な車両を構築するためには、どのようにプラットフォームやサービスを活用すべきかを検証する。

対象市場

欧州	北米	中国
日本	グローバル	その他

レポート発行頻度

毎年更新	半年更新	四半期更新	毎月更新	1	ワンタイム

レポート形態

PDF	PowerPoint	Excel	Online

ページ数

75

OEMの焦点はパーソナライズされた車内エクスペリエンス

1 パーソナライズによって
収益が増加するのか

ここ10年で、パーソナライズは、最も人気があるデジタルサービスにおける重要な差別化要素の一つとしての存在感を増しており、Amazonの商品推奨を発端として現在の市場の他の多くのテックジャイアントまで、高度にパーソナライズされたエクスペリエンスを提供している。

2 ユーザーはパーソナライズ
を望んでいるのか

自動車ユーザーのデジタル生活とますます一体化しているため、自動車の顧客エクスペリエンスにおいても、パーソナライズが重要な差別化要素の一つになっている。

3 OEMはテックジャイアントを
打ち負かすことができるのか

本書では、OEM、サプライヤー、およびテックジャイアントの製品/サービスから時代の最先端の技術を分析し、市場牽引要因、課題、および今後の方向性を評価する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

100+ Reports published per year
50k+ Slides of insights, forecasts & data
4,000+ # of auto professionals who access our reports

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。



ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「パーソナライズドビークルの市場動向及びエコシステム」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

